

Y's Men International
Y Service Clubs International

YMI

WORLD



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

**YMI ワールド
2018-2019 No.4
日本語版**



私たちの力を結集して「チャレンジ22」の目標を達成しよう／YMIとYMCAとの関係：「Yes、一緒に未来を造ることができるでしょう」
／特別エッセイ：私たちのYMIへの誇りを輝かせよう！／直前国際会長の追想：「タイム・トゥ・セイ・グッバイ、ウィール・ミート・アゲイン」
／YMCAとともに：アフリカで、YMIとYMCAが協力関係の原則に署名／地球規模の関心事：科学者達が百万種の生物が絶滅の危機にあると警告／YMIプログラム：BF- 国際的な理解の強化・保存記録資料選択のガイドライン／エクステンション：ヨーロッパ：新しい国々が関心を寄せる・インド：会員数の飛躍的な増加・アメリカ、ブラジル、ベトナムでの新クラブ／コミュニティーサービス：カナダ「1944年以来美しい音楽を共に奏でる」・ヨーロッパ「デンマークの児童・青少年福祉への募金活動」・インド「愛と安全の50の贈り物」
／読者の反響／魂の真言：私たちは、何を恐れているのか？

読者の皆さまへ



前号では、ムン・サン・ボン国際会長に率いられたチームのトレドへの訪問と現地のYMCAと新たなコラボレーションを始めることができたことによる楽観的な雰囲気をお伝えしました。今回のYMIワールドでは、2022年に向けての軌道を正しく歩んでいる、より多くの例と証拠をお見せいたします。私たちの目標は、達成可能で、私たちの計画は、実行可能です。一層の楽観—これが今号の各ページを通じてお伝えしたいことです。

今号の主要なテーマは、ふたつです。エクステンションとワイズとYMCAのパートナーシップです。前者では、幾つかの突破口が各地で開かれました。ラテンアメリカで、ヨーロッパで、インドでそしてアジア太平洋の各地域で。昨年度、記録的な新クラブの設立が行われ、1,700名近くのメンバーが増えました。インド地域だけで、88クラブの新クラブ、1,500名近くの新メンバーを得ました。また、多くの新しい国が仲間となりました。ハイチ、ベトナム、オランダ、カンボジアです。最も元気づけられることは、将来アフリカにおいてより多くのクラブが得られるという見通しです。6月初めに、ジョース・ヴァルギース国際書記長とフィリップス・チェリアン国際会計がアフリカYMCA同盟の会合に出席したことがこの2つの大きな組織をより近づけました。この機会にアフリカYMCAとワイズアフリカ地域は、「協力関係の原則」に署名しました。今や、2022年に3,000クラブ、50,000名の会員は、本当に現実のものになりつつあります。今号を代表する2つの記事は全てのメンバーにとって必須の読み物です。ひとつは、ジョース・ヴァルギース国際書記長の2022年に向けてのはっきりとした計画であり、もうひとつは、キャロル・サンビー世界YMCA同盟総主事によるもので、私たちのパートナーの組織が、私たちの努力をしっかりと支えているということを確認に示しています。

これらの記事を補うものとして、ジョアン・ウイルソン元国際会長の記事をご覧ください。彼女は、私たちの運動を2022年までに100カ国に広げようという願いを込め、挑戦するにあたって重

表紙: 「ホームレスのシェルター」プロジェクトの一環として南西インド区での落成式を行うインド地域会長の K. C. サミュエル。詳細は 17 ページを参照。

ワイズメンインターショナル

ワイサービスクラブズインターナショナル公式誌

国際本部: Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長: コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ: 田中博之 (委員長、東京多摩みなみ)、

青木一芳 (千葉)、今城高之 (横浜つづき)、利根川恵子 (川越)、

太田勝人 (東京町田スマイリング)、比奈地康晴 (東京)、

倉田正昭 (京都)、田尻忠邦 (大阪)、谷川寛 (大阪センテナアル)、

谷本秀康 (東広島)、中井信一 (奈良)

印刷: (株)三浦印刷所 三浦克文 (岡山)

要なこと「ブランディングとイメージづくり」を示しています。このブランディング実施の例のひとつとして、私たちの仲間のメンバーがポスターを作ってくれました。今号の裏表紙に用いられています。各クラブ、各区でチャレンジ22の推進のためにご自由にお使いください。

最後に、今回、読者からのフィードバックに答えないという私たちのポリシーから意図的に逸脱しました。私たちは、前号の記事が高い品質だったことについてのメッセージの多さに浮き浮きとしました。ここで全てをご紹介はできませんが、幾つかについて掲載いたしました。感謝と励ましのメッセージをお送りいただいた方々に心からお礼申し上げます。それらは、私たちの、良質な記事を提供するという決意にしっかりとエネルギーを補給してくれることでしょう。

ワイズリー

コシー・マシュー

私の本棚から

「動物農場」 ジョージ・オーウェル

ジョージ・オーウェルによる「動物農場」は、1945年に出版され、来年には75周年を祝うこととなります。依然として、今の時代の読者に対しても価値があるものかという論争がありますが、私は、そうであると信じており、英国において、現在も文学の教育課程で学ばれていることは、この意見が信頼できることのひとつの証拠でしょう。昨晚、私はこの小説を読み直し、70年前にそうであったはずと同様に、今もそのテーマと伝えるものが力に満ち、感動を与え、価値があるものであると感じました。「動物農場」は、農場を舞台としています。そこで動物たちは農家の土地を手に入れ、組合員の利益を享受する協同組合を設立します。しかし、一部の動物たちは他の動物たちよりも大きな報酬を受け取り、動物たちは、想定していたユートピアに疑問を抱き始めます。少しずつルールが不思議に変化し始め、豚が少しずつ力を獲得し始め、動物たちは、そもそも彼らがどんな社会のために努力していたのか、そして彼らに新たにもたらした自由が、彼らが望んでいたほど解放的であるかどうかを疑問視させました。

「動物農場」は、史上最高の社会政治的作品のひとつですが、読者がレーニン、マルクス、トロツキー、スターリンが言いたいことを取り上げたり理解したりする必要はありません。本質的にシンプルで感動的で啓発的な寓話であり、人類の最高の状態と最悪の状態を明確に示す物語です。私にとっては、すべての人間の中の悪魔を強調しています—妬み、欲、怠惰そして恐怖から生まれた残酷さ。「動物農場」は、感動的で、苦く、そして歴史からの警告です。人間が得意とすることは、過去の過ちと間違った判断を繰り返すことです。全部を読むのに2~3時間しかかかりません。誰でも読むことができ、また、読むべき本です。

(GoodreadsのためのFloresiensisの書評から)

私たちの力を結集して 「チャレンジ22」の目標を達成しよう 国際書記長 ジョース・ヴァルギース



2022年まであと3年となりました。歴史的記念の時としてYMIが2008年以来思い描いてきたワイズ100周年の年です。

8年前に設定された「2022年に向けて」の諸目標（後記）のもと、私たちは共通の目的を与えられました。いくつかの目標項目は、これに先立つ「ビジョン2022」を実現するための鍵とされたもので、それによってYMIは、力があり、発展的で、世界志向かつ世界に認められた奉仕機関として、活発に使命を果たしているものであることが広く説明され、描写されてきました。この諸目標により、私たちは、ビジョンを現実化することが求められてきました。その際、YMCAや地域社会とのより良い連携と、統一された強力で明確な国際関与姿勢と、そしてYMIおよびその活動の内外からの認知度アップとが求められました。これらを実行することにより、100周年記念の年には「100か国に会員5万人」が達成されるはずでした。

しかし、「星の王子様」の作者サンテグジュペリが言うとおりに、「計画のない目標はただの願望」で、私たちの運動にも当てはまります。会員増の目標に近づくどころか、全エリアで会員減に直面しています。今がぎりぎりの岐路で、ここで道を誤ると、約10年前に立案した「2022年目標」を達成する希望は失われてしまいます。

幸い、この夢はまだ消えてはいません。私たちは、役員もクラブ会員も、前向きに確かな成長をしている国際奉仕機関の一員であることに希望を持っています。灰の中にワイズ精神という火が保たれています。この火は、再び燃え上がれば改革の力となります。

米国の歴史家・社会評論家のハワード・ジン曰く、「小さな行動でも、何百万の人々によって行われれば、世界を変えることができる。」「チャレンジ22」は、ワイズ各会員が国際協会の健全運営のために力を合わせることで、世界を変革する機会なのです。そして、全てのメンバー、リーダー、組織は、このチャレンジに加わることが求められています。

以下に、互いに関連する7つのチャレンジを掲げます。



1. 認識を変える

* 国際本部から皆さんへ、また皆さんから、定期的に、腹藏なく、プラスのこともマイナスのことも伝え合い、よい雰囲気の中で意見を交換しましょう。

2. ブランドの明確化

* ワイズの全世界共通の旗印を定め、いつでもどこでもそれを掲げましょう。

* ワイズのウェブサイトをもっと魅力的で一般の人が簡単に見られるように作り変えましょう。

* ワイズのよい働き・活動に脚光を当て、新会員獲得を鼓舞しましょう。

* 中心的プログラムを紹介するビデオを作りましょう。

こうしてワイズの神髄とは何かを世間に知らしめましょう。

3. 遺産と共通のインパクト

* クラブや会員からワイズの歴史に残る大切な「物語」を集め、それらをYMCAと協働してデジタル資料化し、刊行しましょう。

* 「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクト」のために2021年末までに100万ドルを集めましょう（今後3年間、各ワイズ会員が年最低10米ドル拠出することが望まれます）。

* 2021年9月30日現在の全世界のワイズ会員の100周年名簿を印刷製本しましょう。

* 各クラブが年に2つの奉仕事業を始め、それを国際本部に報告しましょう。

こうして私たちは過去の遺産を未来に継承できるように。

4. YMCAとの連携

YMCAとの歴史的・基本的協働関係を強め、Y・ワイズ共存共栄の協約を確立しましょう。そのためには：

* 「Y・ワイズの協力関係の原則」と了解事項覚え書の締結により、使命を共に担う者としての共助関係を新たにすること。

* ワイズのクラブ会合にYMCAの働き手を招待すること

* ワイズの部単位の活動にその地域のYMCAとの一致協力関係を打ち建てること

* ASF（アレキサンダー奨学金）活用を広報し、支給を

ワイズ運動最大の関心事

行うこと

- * TOF 事業を Y と共同で推進すること
- * 「YMCA 祈禱週」、「YMCA チャレンジ」の行事に積極参加すること
- 5. **100 か国にワイズを、**との目標で私たちの運動の世界的な姿をより多くの国に広げようとしています。そのためには:
 - * 現在ワイズが存在する 66 か国を 100 か国に広めるには、アフリカに 8 つ、アジア太平洋に 6 つ、カリブ海に 3 つ、欧州に 13、ラテンアメリカには 5 つの国に、YMCA と連携してクラブを設立すること
 - * 各エリアにエクステンション事業主任と YMCA メンバーから成る 4 年任期のクラブ作り専心チームを設置すること
- 6. **3,000 クラブに増やす、**との目標で私たちは現在の 1,476 クラブの数を倍増しようとしています。そのためには:
 - * 各区に、次期理事を長としエクステンション事業主任を含むクラブ拡張チームを設けること
 - * 各クラブが、世界のどこかにひとつ新クラブを作るのを

援助することに挑戦すること

- * 国際協会の次期理事研修会の折の統一した研修と国際協調によって各区の働きを強めること（最初の国際次期理事サミットを今年 11 月初めに米国オハイオ州トレドで開催の予定）
 - 7. **会員 50,000 名に、**との目標で現在の 23,500 名の会員数を 100 周年記念の年までに倍増させようとしています。そのためには:
 - * ワイズ会員各人が少なくとも 1 人の新会員を得ること
 - * 各クラブが青年 2 名の会費を支援することを約束すること
 - * 各クラブが YMCA と協働して、Y の定年退職者や若い会員、理事やボランティアを集めた新クラブを作ること
 私たちはこれらの夢を実現するうえでひとりではありません。区内の YMCA には多くの味方がいます。エリアや区の役員の方々が YMCA 指導者たちに、ワイズ会員になってくれそうひとたちを紹介してほしいと頼むことをお奨めします。
- 皆で一致団結してこのチャレンジに立ち向かいましょう！



2022 年とその先
に向かう目標

- 会員 50,000 名
- 3,000 クラブ
- 36 の新しい国
- YMCA との協力
- 遺産と共通のインパクト
- ブランドとイメージ
- 認識を変える
- 共通のインパクト



ワイズメン 2020
国際大会 オデンセ デンマーク—冒険のまち

2020 年デンマークでお会いしましょう

私たちは総力をあげて
国際ワイズメンの結合を強める
冒険に満ち、忘れがたい
最高の大会を創り出します

「Yes, 一緒に未来を造ることができるでしょう」

カルロス・サンヴィー YMCA 世界同盟総主事



敬愛する YMCA アフリカ同盟、世界同盟のリーダー達からのご挨拶をお届けします。

私は、皆さんのテーマである「Yes, We can change!」を高く評価します。これは果敢、かつ刺激的なものです。私たちは、しばしば変革について耳にしますが、今、私たちは組織の反応を確かめつつ進めていく足取りをここに見ています。それによって、私は、正に今、私たちは変えることができ、今がその時であることを確信しています。私は、私の良き友人であるジョースヴァルギース(YMI 国際書記長)と一緒に働く機会が与えられることを心から感謝しています。私たちは過去 8 年間にわたって一緒に働き、良好な関係を築いてきました。私は、この関係により、私たちが求める変革を実行することが可能になると信じています。何故ならば、「鉄は鉄を研ぐ」からです。

皆さんの大会(麗水・国際大会)のテーマは、私たち YMCA にも関係深いことであり、私は、私たち両組織の関連性と進化の最前線で、共に未来を造ることができると信じます。

変曲点にある YMCA

私たちの背景にある長年にわたる成功体験は、私たちすべてが共に誇れるものです。しかしながら、もう一方で私たちは、存続にかかわる数々の脅威に直面しています。例を挙げます。

* YMCA は、社会のセーフティーネットとなり、社会により広がる格差を埋めるという強いプレッシャーに晒されている。

*閉鎖に追い込まれる、あるいは経済的な不安定に直面している YMCA が急激に増えている。

*私たちは、社会および若者が直面している今、正に起きている問題に付いて行くことができず、それが、私たちの世界的な関りや影響力を弱めている。

これら全ては、重大な脅威であり、取り組まなかったり、悪化させたり、無視したりすれば、私たちの運動が過小評価されたり衰退や無意味化することから、私は、皆さんに特別な関心を払うよう要請いたします。

3本の柱

従って、兄弟姉妹の皆さん、私たちの組織の有効性、関係性、影響力の強化に資するための私の YMCA に対する展望は次の 3 本の柱に基づいており、私たちが協力して取り組むことが重要です。

1. 内部の協力関係および信頼関係の強化
2. ユースエンパワーメントに資するダイナミックな協力者の基

韓国・麗水での 2018 年国際大会での当時次期総主事のサンヴィー氏のスピーチ。彼は 2019 年 1 月から総主事となった。

盤作り

3. 私たちの経済モデルの刷新

この 3 本の柱を強調したところで、以下が私からの皆さんへの要請です:

私たちは、既に昨日の時点で、私たちの共通した未来についての戦略的な話し合いを始めているべきでした。すなわち、私たちへの脅威に対応する緊急性に鑑み、私たちは時間に敏感でなければなりません。

私は、皆さんに、今、若者が直面する重大な事態について注意を喚起するような革新的な協力を強くお願いします。私たちは、一連の戦略的頭脳・行動集団を作り、維持していきます。私たちが取り組む課題としては、若者の雇用、健康、気候変動、企業化精神、市民参加等が挙げられます。想定される行程には、YMCA 内外の、課題に適したしかるべき専門家たちが同時に参加します。

私は、これによって、企業との新たな戦略的な同盟関係の構築のみならず、行政分野、学術研究機関との同盟関係を促し、ユースエンパワーメントに関する世界的な研究機関の創設に繋がるものと確信しています。これら頭脳・行動集団による成果は、実態に基づいた主張を奨励し、YMCA が世界的な観点からユースの育成、ユースエンパワーメントに焦点を置いた先進的な組織としての地位を更に高めるに違いありません。それ故に私たち双方は、私たちの立ち位置を考慮して刷新された視点を明確にしなければなりません。

私たちの望みは、適切かつ前向きな姿勢の奉仕提供者となす「道」を先導し、運動全体を支援するためにお互いで作りあげた打開策を示すことです。

私は、皆さんが私たちと一緒に旅立ってくださるよう頼りに思っています。

私たちは新しいレベルの奉仕クラブ(奉仕クラブ 2.0)を必要としています、そして、何より大切なのは、お互いを助け合うために一緒に行動する用意があるということです。

皆さん全てに神様の祝福がありますように。

YMCA
ボランティア 175
2019 年 6 月 8 日
あなたの時間の 175 分を地域社会への奉仕に捧げてください。
この運動に参加するためには、地元の YMCA にお問い合わせください。

CELEBRATING 175 YEARS OF SHAPING YOUNG LIVES
#YMCACHallenge #YMCA175

特別エッセイ

私たちの YMI への誇りを輝かそう!

元国際会長 ジョアン・ウイルソン



私たちは、YMI の会員として、2022 年に 100 周年を祝おうという大変わくわくするような時を過ごしています。クラブ会長には最近、私たちの「2022 年に向けてのゴール」に対応するステップの概要を会員と共有するための詳細なプレゼンテーションが用意されました。行動計画である「チャレンジ 22」によって、全てのレベルでやり遂げなければならない活動について、もし私たち一人一人が行うべき役割を達成すれば、間違いなく完成することが解ります。

私は、最近、ゴールの一つ「**挑戦#2:ブランドの明確化**」について、運動として、私たちがパブリックイメージ、ブランド知名度の促進にどのように取り組んでいるかを考えて見ました。クラブのメンバーのひとりとして私は、私たちのパブリックイメージ向上に何ができるか。クラブとしてはどうか。

私たちの先輩指導者たちが、全体的なブランドの独自性について決断するために作業している中で、私たちクラブメンバーは、私たち自身の決断を行うことができます。私たちは、国際協会のクラブメンバーバッジや協会のロゴ入りの衣服を身に着けることにより、私たちが誰であるか示すことができます。これ自体、自身をクラブメンバーであることを証明するのみならず、皆さんは何者かと尋ねるかもしれない人に説明する機会を提供してくれます。ただ、もしあなたが「何なのか」をきちんと説明することができない場合、ピンや衣服を身に着けていても全く意味がありません。

私が次期国際会長であった時、各地域を訪ね、次期理事の研修会に参加しました。皆さんにお願いしたことのひとつが、「エレベーター・ピッチ」を作ることでした。これは、北米以外の方々には奇抜に映るアイデアですが、一度説明を受けると、ほとんどの人がこのアイデアが気に入りました。「エレベーター・ピッチ」とは、エレベーターに乗り合わせた人から尋ねられたことに短時間、たとえば 10-30 秒間で答えるということです。そこで、あなたは、YMI はあなたにとって、また、あなたの地

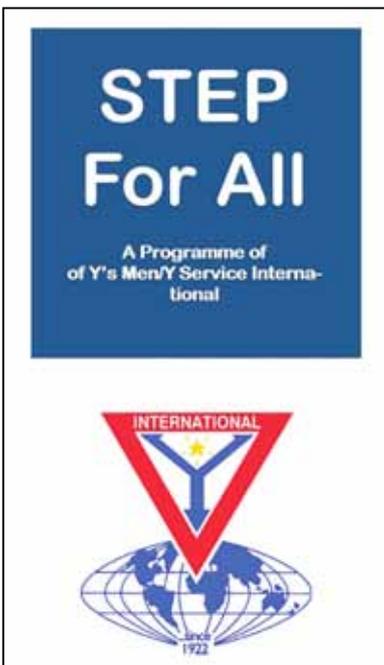


域社会にとって何かについて 2-3 の文章を予め用意しておく必要があります。数秒間に合った簡潔で正しい文章を呼び起こすのは少なからず工夫が必要です。

私のこの助言は、決して新しい考えではありません。私は、ロータリーバッジを毎日身に着けることを自ら課していた以前の国際ロータリークラブの会長のことを思い出します。私はこれらのことを YMI に広げてここにお示します:

- *ピンやロゴを身に着けている時はワイズであることを誇りに示しましょう。
- *ピンを身に着けることには、あなたをより良い人とし、一話したり行動したりする前に、あなたはご自分だけではなく YMI を代表していることを考えましょう。
- *あなたは、YMI の他のメンバーを探し当てることができます—どこに行こうともすぐに友が与えられます。
- *私たちの態度や物腰は、YMI のメンバーであることを幸せに感じていることの証左となります—私たちは、YMI に属することにより、より幸せに、より満足を覚えます。
- * YMI のピンや衣服をまとうことで、私たちは奉仕団体に所属していることを発信しています—私たちは常に所属地域社会の潜在的な要請に注意深く、新しい、あるいは異なった方法による奉仕に対して寛容でなければなりません。

私たちの国際、地域、区のリーダー達の全てが YMI のブランドイメージ向上を前進させるべく働いている中で、私たちメンバーあるいはクラブは、私たちが誰なのか、私たちは何なのか、何をしているのか、何を信じているのかを伝える行動を直ちに起こすことができます。私たちそれぞれが、YMI のバナーのもとで、自分のクラブが地域で YMCA や助けを必要としている人たちに何をしているのかを少しずつでも自慢しましょう。私たち個々の身の丈に合った小さな行いでも、まとまれば、YMI が自分自身にも他の人にも異なって見えるようにすることができます。YMI の枝の一つである誇りを共有しましょう!



STEP For All
ワイズメンズクラブのプログラム TOF と BF と協調しての取り組み



「タイム・トゥ・セイ・グッバイ、ウィール・ミート・アゲイン」

直前国際会長 ヘンリー・J・グリンドハイム

サラ・ブライトマンとアンドレア・ボチェリは「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」という素晴らしいデュエットを歌いました。国際執行役員のトロイカの一員としての、間もなく終了する3年の任期について、この文章を書くために座り、ペンを取ったとき、この歌が私の頭に浮かびました。

2015年2月のある晩、ポール・トムセン元国際会長から電話があり、デンマーク区とヨーロッパ地域を代表して、次の選挙で国際会長に立候補するよう勧められたことを良く覚えています。私のポールへの謙虚な返事は、私がそのような重要な立場にふさわしい人物かどうか疑問に思うというものでした。しかし、ポールは、私の長年の経験、知識、そして姿勢で、私はそのような立場にふさわしい人物であると言いました。

2016年の初めに、私は次期国際会長に選出され、その年の7月に就任しました。これが、素晴らしい、思い出深い、しかし挑戦的な3年間の始まりでしたが、それも今年6月30日に終わりとなります。この時期を振り返ってみると、世界中のたくさんのフレンドリーな人々と出会いました。彼らはこの素晴らしい期間中に会い、私は一緒に働く特権を与えられました。私は以前にもワイズ運動を通じての友人がいました、しかし今、私は異なった地域の中のほとんどすべての区にたくさんの個人的な友人がいるのを感じます。

私は、それまで訪れることなどできないと思っていた国や場所に旅をしたり、訪問をしたりしてきました。私は、私たちのすばらしい運動に奉仕したいという誠実な願いで満たされた献身的なワイズウイメンとメンに出会いました。ワイズメン・インターナショナルのために何時間も費やしてきた人たちです。

大変きつい仕事もあり、また仕事や、飛行機で大陸を横断するような長い一日、夜もありました。フライトの遅延やキャンセルで到着が遅れたり、世界中の空港で長時間過ごしたりしたこともありました。私だけでなく他の役員も含めて行く、慎重な検討と断固たる判断を必要とするさまざまな課題や問題に直面しました。私はこの3年間、ウィチャン元国際会長、ジョアン元国際会長、ムン・サンボン国際会長、ジェニファー次期国際会長、フィリップス国際会計、西村元国際書記長、ジョース国際書記長等々、他の国際執行役員と密接に協力して働いたことを光栄に思います。この組織の中で重要な役割を果たしている多くの国際議員、地域、区の役員にも感謝します。

現在は異なった役割を担う

直前国際会長として、国際会長トロイカ体制では異なる役割を果たしています。直前国際会長は、もはや議長ではありませんが、後継者に対する顧問およびアドバイザーとして行動します。つまり、のんびりとした立場ではなく、積極的なトロイカのメンバーとして活動し、国際執行役員とともに仕事をこなし、アドバイスを与え、経験を

共有し、支配的な直前国際会長となることなく、国際会長を好意的に支えるパートナーになることが求められます。私は自分がこれらの基準を満たしていたことを願っています。

私の国際会長としての任期中に、国際書記長の募集、任用が行われたことを付け加えさせてください。国際会長として、私はこのプロセスに深く関わっていました。ジョースが新しい国際書記長になったことをとても嬉しく思います。彼のYMCAの仕事の経歴、彼の楽観性、そして仕事上の能力に、彼のスキル、ユーモアのセンスと人間的な行動とを組み合わせることで、彼は間違いなく、長年のハードワークの後に退職をした西村さん引き継ぐのにふさわしい人物であると思われます。

私は特に西村さんのガイダンス、支援、そして私が国際議員の時および後に国際執行役員の時々の長年に亘り、多くの旅行や会議の際に共有した友情に感謝します。また国際本部のスタッフにも大きな「ありがとう」を贈ります。私がアドバイスや支援が必要な時に常にそばにいてくれて、継続的に働き、サポートしてくれたトレーシー、ジェイムズそしてアミンに感謝いたします。

2022年、つまり私たちの100周年記念のお祝いが急速に近づくなかで、私の国際会長としての主題である「光のなかをともに歩もう」が引き続き有効で、世界中のワイズメンの指針となることを願っています。

第二次世界大戦中にデーム・ベラリンが、イギリス兵のために歌い、忘れられない歌となり、かなりよく知られている歌で、この文章のタイトルとなっているもうひとつの歌の題名を述べて、このYMIへのお別れの手紙を終りにします。この歌の題名は、私の望みと今後何年にもわたる願望を反映しています。ここでは元国際会長として、今後、さまざまなワイズメンの関係で皆さまとまた会える(ウィール・ミート・アゲイン)ことを希望していることをお伝えします。

ご支援いただきありがとうございます。神が皆さますべてを祝福してくださいますように。



ヘンリーの贈り物

マリア・マカロバ(ロシア)からの投稿です。「直前国際会長のヘンリー・ヨハネス・グリンドハイムがロシアに来る時には、スーツケースを一つ余計に持って来ることが伝統となりました。このスーツケースにはニットの製品—スカーフ、ミトン、帽子など—が入っています。これらはヘンリーの隣人であるリーダン・リビーさん(ロシアでは彼女のことをノルウェーのバプーシュカ(ロシア語で老婦人または頭にかぶるスカーフの意味)と呼んでいます。)が冬の間に編んだものです。彼女は、ロシアのワイズメンに温かい気持ちを込めた温かいニットを贈ります。ワイズメンは、この贈り物を孤児院に届けます。さて、新しいスーツケースが、2019年ヨーロッパ地域大会が開催されるエカテリンブルグに送られる準備ができました。

YMCA とともに

アフリカで、YMI と YMCA が協力関係の原則に署名

アフリカ YMCA 同盟とワイズメン・アフリカ地域は、パートナーとして働くというコミットメントを強化する協力関係の原則に署名しました。これは、アフリカ YMCA 同盟と YMI の歴史における、まさに歴史的な出来事でした。

このイベントは 6 月にヨハネスブルグで開催された第 11 回アフリカ YMCA 同盟総会の最終日に開催され、YMI が招待されました。フィリップス・チェリアン国際会計、ジョース・ヴァルギース国際書記長、シャリフ・アワド・ショウクリー・アフリカ地域会長、トム・ワカ次期地域会長およびクララ・アデツピ元地域会長が、YMI 代表団の一員として総会に出席しました。総会は「ルネッサンスの力」をテーマに開かれました。総会の前に、YMI 代表団は、アフリカ YMCA 同盟に属するすべての総主事と合う機会があり、この協力関係が今後の奉仕活動でパートナーとしてともに歩む道のりへの合意



であることを確認しました。総主事全員が、それぞれの YMCA のブランチでワイズメンズクラブを再構築することへの支援を表明し、双方にとってふさわしいワーキングモデルを作りました。

YMI 代表団はまた、朝食会議で、パトリシア・ペルトン世界 YMCA 同盟会長とともに、アフリカ YMCA 同盟役員およびアフリカの各 YMCA の会長との対話も行いました。

総会で、国際書記長は、ワイズメン運動、その現在の方向性、そして YMCA と協力したいという希望について話しました。YMI の活動および YMCA / 地域社会レベルでクラブを立ち上げるための手続きに関する必要な情報を提供するために、総会の会場で、YMI によって情報提供ブースも運営されました。(現在クラブのない) 新しい 10 カ国における 25 にもおよぶ新クラブ設立の書面による提案が、YMCA のリーダーから寄せられました。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



モルドバにおける YMCA との模範的なパートナーシップ



モルドバ YMCA の新しいトレーニング・センターに掲げられたプレート



トレーニング・プログラムに参加するユース

科学者達が百万種の生物が絶滅の危機にあると警告

毎年5月の第3金曜日は「絶滅危惧種の日」とされているが、それは祝われるべき日ではなく、このような日が理想的には存在すべきでないと思われます。しかしながら、現実には、理想的な社会ではありません。これは、今年国連の生物多様性と、国際科学政策が生物多様性と環境システムの会合(IPBES)で生物多様性と環境システムに関して、百万種の生物が絶滅の危機に瀕している事を報告しているからです。私たちの読者とYMIのメンバーにこの状況を理解して頂くために、2019年5月にロイター通信社が報告した内容を以下のとおりお知らせしたいと思います。— 編集長

人間の絶え間ない経済成長の追求のせいで、百万種の動植物が明白な絶滅の危機に瀕していると最近発行された記念碑的な報告書の中で、近代文明が自然世界にもたらす破滅的衝撃を報告しています。科学者たちは、全世界の政府や実業界に彼等が既に決定した政策を考え直すように切々と迫りました。科学者たちは、これらの政策は農業、エネルギー、鉱山業において全地球的な環境を保全するための改革を阻害していると述べています。



「もし私たちが次代の子供や、孫達に人間の活動によって破壊されない世界を残そうと思うなら、今行動を起こさなければならぬ」とロバート・ウイilsonは語りました。ウイilsonは、国際的に設立された生物多様性と環境システム保持のための団体(IPBES)を主宰し、この研究を主催しました。IPBESには米国、ロシア、中国を含む130か国が参加しています。

「もし私たちが今、行動を起こさないと、百万種以上の生物が17世紀に絶滅したドウドウと同様に絶滅するでしょう」とウイilsonは、パリで開かれた記者会見で、絞めていた飛べない鳥をデザインしたネクタイを示しながら述べました。

全世界的評価として知られる報告書で、地球上に存在する8百万種と見積られる植物、昆虫と動物の内、その多くはこの十数年以内に絶滅の危機にあると述べられています。この報告書では大規模農業と漁業が現在の危機を駆り立てている主要な原因と断定しています。同時に現状の絶滅の速さは過去一千万年の平均より10倍も100倍もの速さで進行しています。報告書では、化石燃料産業が生産する石炭、石油、ガスの燃焼から、もたらされる地球温暖化はさらに状況を悪化させていると述べています。

「私たちは、人類絶滅の危機に瀕しています。」と米国を拠点とする反化石燃料団体350.orgの指導者であるホグ・ボラカは、述べています。「私たちは、地球温暖化を促進している

化石燃料産業に立ち向かい、長期持続する、意味ある変化のために共に働かなければなりません。」とも述べています。

真剣な交渉

今までになく長時間かつ包括的な人類の将来にわたる成長と自然社会を結びつける企てである研究は、IPBESメンバーの間で激論の末、土曜日の午前3時に最終決定されました。

報告書は、今後形成される研究団体の中核をなす提言として、もし徐々に進む環境汚染と生物の破壊、地球温暖化によってもたらされる現存する危機を回避しようと思うなら、世界は新しい「成長後の経済」の有り様を確信しなければならないとしています。3年有余の研究と15,000の科学的論文の結果として、報告は食用生物の受粉を媒介する昆虫の消滅から、魚類の棲み処であるサンゴ礁の破壊、薬草の消滅まで、危機の範囲を示しています。絶滅生物のリストには40%以上の両棲類、サンゴ礁を形成するサンゴ虫のほとんど33%、鮫と鯨類の魚類、海にすむ哺乳類のほとんど3分の1が含まれます。昆虫類がどうなるかはあまりはっきりしていませんが、約10%が絶滅するのではと、暫定的に見積もられています。

この報告書の発行と「絶滅への反抗」という団体による環境活動の急激な高まりとは、時を同じくするものです。「絶滅への反抗の市民的不服従キャンペーンは、英国議会をして、このキャンペーンは地球温暖化における緊急事態であると宣言するまでに至りました。この報告書の飾らない表現は、国連の国際地球温暖化委員会と軌を一にするもので、この委員会は、温暖化する世界の最も破壊的な結果を回避し、温室ガスを可能な限り早く減少させるためには、広範な経済的、社会的な変化が必要としています。これらの所見には、来年末に中国で開かれる生物多様性に関する会議で参加国に野生動物を保護する大胆な行動に同意するよう圧力を加える様付け加えています。生物の絶滅と地球温暖化が密接に関係している事を強調もしています。

この報告書を共同で書き上げた米国インディアナ大学の人類学教授のエデュアルド・ブロンジデチオ教授は、「私たちは、地球上の生物のあり方を劇的に組み替えました。」と述べています。「一番重要なメッセージは、今まで通りに事業を継続するという考え方が終わりになった」ということです。

BF –国際的な理解の強化

ブラザーフッド基金 (BF) は、1931 年から始まり、ビショップ基金 (Bishop Fund) として知られていました。当初の目的は、北米以外の国々のワイズ活動を促進しようと言うこと、他の地域から国際大会 (当時は、常時北米にて開催されていました。) にクラブ会員を参加させようと言うことでした。

その後、大陸間、地域間、クラブ間の財政を支援するために広がって行きました。また、国際役員や公式代表の国際旅費を支援するものでした。当初の大部分の収入は、使用済み切手の売り上げが占めていました。しかしその後は、各クラブからの現金による寄付が増えて来ています。

1968 年になり、その名称は「Brotherhood Fund」として、もっと分かり易い名称にしようと言う事になり変更されました。今日、その目的は世界中のワイズメン、ウイメンの兄弟愛を強化すること、部分的に地域大会や区大会に参加させる、そして同時に遠い地域を訪問できるようにとの考えです。収入は、1936 年に 140 USドルだったものが、今日では約 200,000 USドルに増加しています。

現在では現金での寄付が多くを占めていますが、使用済み切手も未だに約 15%位の比率を占めています。

グラント (補助) の目的と種類

かねてから、国際役員の旅費支援に使われています。そして、一部の基金は地域に委ねられています。地域の一般的な目的 (クラブ公式訪問、リーダーシップ研修等) に使用され、基金の用途は、地域のリーダーと BF 使途委員会 (BFEC) によって決められます。一部の基金は、毎年基金の管理とユースの旅費支援に取って置かれていますが、大部分は BF 代表の補助金に使われています。

Cultural Exchange Grants (旧フルグラント) は、クラブ訪問等のため、他地域に公式訪問するためのものです。この代表は、最低3週間の訪問を行い、国際的な理解の促進、世界中の他地域のワイズに学び、知らせることいわば「ワイズの大使」という BF 旅行の一般的な目的を満たすことに加え、特別の任務 (たとえば国際的なプロジェクトやプログラムの促進) を帯びます。

International Convention Grants (旧パーシャルグラント) は、国際大会や地域大会だけに参加を希望する者用です。旅費の一部を受け取る事が出来ませんが、大会参加以外の義務は、この代表には有りません。詳細は、www.ysmen.org. で入手出来ます。

・国際会長ムン・サン・ボン、国際事業主任 (BF 促進) サイン・ジェンキンス、同 (BFEC) イネタ・クルミオナ、国際書記長ジョース・ヴァルグースは、BF 献金キャンペーンへ参加する様に全てのワイズに要請しています。

*あなたは BF の献金をどの様に行っていますか?
*あなたのストーリーを共有し、他のメンバーに刺激を与えましょう!

2018-19BF 目標

Region	2018/19 BF Goals
AFR	875
ASP	80612
CAC	5782
EUR	22577
IND	2412
EUR	14158
LAM	1412
USA	6628

過去5年間の BF 献金

Year	BF Contributions
2013	83795
2014	107206
2015	95559
2016	96758
2017	96421

強調点

- *設立された 1931 年から続く、国際的な運動の展開におけるブラザーフッド基金の役割
- *私たちの次世代のリーダー達への教育の啓発や文化的な義務を備えたグローバル市民に育てるためのブラザーフッド基金の役割
- *ブラザーフッド基金は、ユースコンボケーションの為に基金を供出し、ユースを支援しています。
- *ブラザーフッド基金は、地域を支援致します。クラブ公式訪問、大会への参加、新クラブ設立、トレーニングのために毎年 Area Discretionary Leadership Grants を通じて支援しています。
- *ブラザーフッド基金は、我々の運動の更なる促進の為に国際役員旅行を支援しています。
- *ブラザーフッド基金は、BF Project Volunteer Grant を通じ TOF プロジェクトの一部と協働する機会を作ります。

今までで一番良い年にしましょう!

- *国際会長 2018/19 年度の目標: CHF 94,077 これを越えましょう!
- *過去5年間の年間 BF 基金の平均: CHF 94,403 これも打ち負かしましょう!
- *過去5年間の最高献金額: CHF 107,206 こちらも打ち負かしましょう!
- *今年度、私たちは、目標を CHF110,000 に引き上げる事が出来ますか? はい、やりましょう!
- *CHF5/ 一人当たり、又は 15 名以下のメンバーのクラブは CHF75 を支払えば、BF Cultural Exchange や BF Convention Grant の応募も可能です。

保存記録資料選択のガイドライン

私たちのアーカイブ(保存記録資料)は、ミネソタ大学のカウツ・ファミリー YMCA 保存記録資料庫内に収められています。

将来利用されるかもしれないどのようなものをここに保存したらよいのでしょうか? 皆さんが所属するクラブ、部、区、そして地域の事を考えてみてください。これから20年後に何が本当に必要になるかを考えてみてください。もし皆さんが古いブリテンをお探しのようでしたら、現在資料庫は、各クラブ、部、区、地域の電子版ブリテンを受け入れています。すべてのブリテンをお送りくださるようお願いしていますが、特に、新クラブのチャーターメンバーの氏名が載っているものや、周年記念事業で出席者の氏名や、皆さんのクラブの歴史上重要なイベントの記録等を歓迎します。ブリテンは定期的に国際本部にお送りくださるようお願いしますが、これは、ihq@ysmen.org をそちらのeメールによる送付先リストに追加していただくだけでよいのです。

各区のブリテンは、区内クラブの活動概要や、区のリーダー達やクラブ会長の名前を掲載しているので、調べている人たちには非常に重要なものになります。皆さんには、区の指導者の過去のリストが載っている文書がありますか?是非そのリストのコピーを資料庫に送るようにしてください。もし特別な出版物が、重要なリーダー達やイベントの写真や名前等を載せているとしたら、今後15年後、20年後、30年後の誰かにとって歴史的な資料価値を持つものになるかも知れません。

区の役員会、議会、あるいは執行役員会等を考えてみてください。ある会合は通常のなものであり、ある会合は主要な決議をするものであったり、主要なイベントを検討するものであったりもします。必ず少なくとも1つの記録資料、例えば区のブリテンで、その年の区役員のリストがあるものを作るようにしてください。

皆さんのクラブ、部、区では、将来その情報を歴史的に価値あるものとして探すかもしれない、YMCAとの間に交わされた重要な手紙や協定で、特にその写真や、関与した人々の名前が分かるものがあるのでしょうか?すべてのクラブや地域には、残されるべき記録や重要な新聞の切り抜きがあるはずですが、それらが誰かのファイルにあるだけで、忘れられているかもしれません。是非ともそれらが記録されるべきなのか、単に個別にファイルされていればよいかを検討してみてください。

「保存記録資料委員会」は、「調査支援」と呼ばれるものを、何が保存されていて、提出された資料がどこに保存されているかを、調査する人々の助けのために利用しています。保存記録資料庫にあるすべての資料は、地域、国、そして区毎に仕分けされています。すべての資料は、箱に収められていて箱には番号が付けられています。現在の国際ヒストリアンは、USA地域のデビー・レドモンドで、彼女には、moscholar@gmail.com で連絡が取れます。

H. ウェイン・スミス 元国際ヒストリアン



HISTORY & ARCHIVES

私たちの歴史をご存知ですか? 歴史的出来事

- 1922 オハイオ州トレドで YMI が創設
- 1923 米国以外でクラブができる (シドニーとノヴァスコシア)。
- 1924 Y's ネット創設
- 1931 ビショップ (Bishops) 基金創設(1968年にBF(Brother Fund)になる)
- 1947 YMI ワールド(Y's メンズワールド)の他言語への翻訳開始
- 1954 アレキサンダー奨学基金創設
- 1957 最初のバレンタイン賞が授与された。
- 1961 APE(次期地域会長)職を創設、そして私たちの印章を米国特許庁に登録
- 1970 国際本部をスイス、ジュネーブに開設
- 1972 ⇒ TOF(Time of Fast) が恒常的サービスプログラムになる。
- 2022 ⇒ ???

ムン・サン・ボン国際会長(当時)、デビー・レドモンド国際ヒストリアンそしてジョース・バルギース国際書記長は、すべての会員が私たちの将来への準備をしながら、私たちの歴史を保持するように求めています。皆さんのクラブ、部、区そして地域の主要な記録を共有し最終的には記録保存庫に提出するようにしてください。私たちの100周年記念を祝う、遺産(legacy)プロジェクトのアイデアと方法をお送りいただくようお願いいたします。プログラムへの寄付は何時でも受け入れています。2月からは、遺産保存プロジェクトへの寄付の特別な機会が案内されますので、ウェブサイトに注目してください!



強調するところ

- ・ ポール・ウィリアム・アレキサンダーの遺産を記憶するために、私たちの「活動」に対する彼の原則とビジョンを例示する形で行動し、他の人達にも同様な行動を奨励する。
- ・ 重要な活動の記録を保存し、重要な記録のコピーをアーカイブ(保存記録資料庫)に送付することによって、私たちの歴史を保存する。
- ・ 新しい概念を受け入れ、私たちの「2022年に向けて」のゴールに対して積極的に関与することで私たちの未来を現実なものにしていく。

どのようなステップを踏むのか?

記録を収集し、それを国際ヒストリアンと協力してアーカイブ(保存記録資料庫)に送付する。

私たちの組織に対する歴史的知識をリフレッシュし、現在の目標と課題を認識し促進する。

世界的な遺産プロジェクトにアイデアを、または、2022年に私たち100年を祝い記念する方法も、提案する。



創設者のメッセージ

ポール・W・アレキサンダーによれば Y's メンになるとはどういうことでしょうか?

Y's メンになるとは:

- ・ 理想主義者になること—その活動が、献身的利他主義を示す理想主義に基づいているものであること。
- ・ YMCA に尽くすものであること。 ・ 義務が全ての権利に先立つことを認めること。
- ・ 世界と同じように広い地平線を持って、世界的意識を持つこと。

私たちは、人がスポーツマンであるかとか身体的弱者であるかとか、大卒者であるかとか自分で勉強した人とか、その人が信じるものがあれとかこれとか、その他の宗教教義だとか、その人が運転するのガリガンカーンとか電車に乗るかとか、その人が役職者であるとか清掃人とか、大通りに住むか路地に住むかとかを、気にしません。

Y's メンクラブの入会資格とは、献身的利他主義を示す理想主義に拠る性格にあります。Y's メンとは、主に他者の幸せをまず考える者です。彼は、その人生の目的を、仕える者であって、仕えてもらうものではないことを宣言しなければなりません。

創設者の日の誓約(12月8日のために)

私は、私たちの運動の創設者である、ポール・ウィリアム・アレキサンダーの記憶に敬意を表し、義務が全ての権利に先立つことを認めることを約束します。私は、私たちの運動の名誉と理想の維持に最大限の努力を約束し、私自身を人々への奉仕のために再献身いたします—どうぞご加護を

ヨーロッパ：新しい国々が関心を寄せる

3月23日、オランダのズヴォレ市にある中央南ヨーロッパ区の新クラブ設立総会に出席するという素晴らしい任務が私に与えられました。その日は短期休暇をとって、妻と一緒に車で行くことにしました。フェリーでイギリス海峡を横断し、ブルージュ近くの素敵なホテルで快適な夜を過ごし、翌日は人口約125,000人のズヴォレ市の素晴らしい街を楽しみました。ホテルに着くと、荘厳な市役所に案内され、昨年ブリストルで開催された地域会議に参加したマーチン・Vosjanに会い、ズヴォレワイズメンズクラブの新メンバーを紹介してもらいました。私が喜びとする務めは、7人の新入会員の入会式と、マーチンの会長就任の司式を行うことでした。キングズウッド・ワイズメンズクラブからウェルカムギフトとして、ビジター記録用の本をクラブに贈呈しました。ポール・ヘニング・ローエンダール地域会長は、公式チャーター認証状を授与しました。

市長を交えたささやかなレセプションを開催して、そこで、市長から市からクラブへ素晴らしい新ロゴが贈られました。その後、市内中心部と一緒に散歩してから、メインの教会とマーケット広場近くのレストランで食事をしました。その後、ケーキやお菓子やアイスクリーム等が豊富に選べるまた別のレストランで、夜になるまで過ごし、就寝前には、満腹状態になっていました。

街中を散策

その日曜日にまた街の中心地を歩き回り、翌月曜日に帰路に就きました。途中、アムステルダム近くのキューケンホフチューリップ庭園を訪れました。美しい庭園の中で、各々違ったテーマで飾られた7つのパビリオンの中で数千ものチューリップと水仙に囲まれた光景は素晴らしいものでした。これが、オランダ訪問の最後の締めくくりとなりました。

ポルトガルは招く

火曜日の夜にオランダから帰国し、3月27日(水曜日)の明け方にヒースロー空港に行く時、ポルトガルのセツバル行きの便に乗り継ぐ準備がされていました。新クラブの入会候補者と会うため、セツバル YMCA を訪れるよう要請がありました。私はリスボン空港でジョース・ヴァルギース国際書記長と会い、



ポルトガル、セツバル YMCA でオリエンテーション後の入会候補者



グラフィックデザイナーの Jeroen van Doornik は、ズヴォレワイズメンズクラブのためにデザインした美しいロゴをクラブ会長に披露しています。彼はよく知られた赤い三角マークをベースとして、街の地形併せたロゴをデザインしました。それは、異なる地区を、色別に表した異なった街の姿を表しています。

2日間一緒にワイズに関心を寄せている10人に、2日間に亘って情報提供し、激励しました。セツバル YMCA の組織は、非常に活動的で、優れた本部とキャンプ場を含むいくつかのサテライトセンターがあります。私たちはアランブル・キャンプ場を訪れ、そこにあるいろいろな問題を解決し、子供達をより良い方向性に導く目的に取り組む環境事業のリーダーと出会いました。このプロジェクトは私達の TOF のプログラムによって支援されています。私たちのプレゼンテーションの後、入会候補者は定期的に会合を開くことに賛同し、新しいワイズメンズクラブを結成するために、どのような段取りを踏むべきかを検討しました。時間はかかりますが、非常に価値があり、うまくいけば、またひとつ新しい国が中央南ヨーロッパ(CSE)ファミリーに加わることになります。

中央南ヨーロッパ区理事：アラン・ウォリントン(ウォーリー)



ワイズメンズクラブ国際協会・中央南ヨーロッパ区理事、アラン・ウォリントンがオランダのズヴォレワイズメンズクラブのリーダーの就任式を実施

インド:会員数の飛躍的な増加

インド地域では、今年、会員数が飛躍的に増加しました。年度の初めには、クラブ会員の総数は7,795人であったのが、年度末が近づくとつれて、9,473人になりました(6月26日に国際本部から発表された数字をご覧ください)。

部間全体フォーラムという特別キャンペーンの推進で、地域の指導者たちは段階的で計画的な方法で、ほぼすべての都市の新会員および入会候補者に手を差し伸べました。ジョース国際書記長がYMCAのリーダーたちと長年に渡って築いてきた親密な関係のおかげで、YMCAの支援は、ボンベイやプネーなどの大都市で実りある結果をもたらしました。国際本部のデータによると、全体として、1,662人の新会員と64クラブの純増がありました。ボンベイとプネーの新クラブを追加すると、その数は、それぞれ1,692人(既存クラブでの増員を含む)と66クラブになります。今年度は88の新クラブが設立されたと言指されるかもしれませんが、多くのクラブの解散により、実数としてはそれより低い数字になっています。K.C. サミュエル地域会長は、本当のチャレンジはこの情熱を持ち続け、現メンバーを維持し続けることと承知しています。彼は、冷静に、この様に述べています。「多くのメンバーを集めない、2022年の目標に近づくことはできません。衰えていくク

2018-2019の会員数の伸び						
区	2018.8月		2018-2019 での増		年度末合計 (6月26日)	
	クラブ	会員数	クラブ	会員数	クラブ	会員数
中西インド区	177	2,883	33	643	210	3,660
南西インド区	151	2,279	25	320	171	2,641
西インド区	89	1,084	18	379	97	1,505
南インド区	76	1,273	11	103	80	1,347
中央インド区	30	216	-	-	29	304
合計	523	7,735	89	1,475	587	9,435

ラブもあれば、栄えていくクラブもありますが、全体としては、これまでYMIで聞いたこともないほど多数の人々の中で一般的な認識が生まれています。そのうちの何人かが最終的に私たちの活動に参加することに期待しています。」

インド地域書記:バブ・オメン



これまで西インドで未踏地であった地に2月に新しい2クラブが誕生。

左の写真はボンベイワイズメンズクラブ、右はプネーワイズメンズクラブのメンバー達。ジェニファー・ジョーンズ次期国際会長は両方のセレモニーに出席。ワイズメンズクラブ国際協会は、これら新クラブ設立のために多大なるご尽力を頂いたボンベイYMCAとプネーYMCAの役員、主事の方々に深く感謝いたします。

アメリカ、ブラジル、ベトナムでの新クラブ



ニューヨーク・ジャクソンハイツ・Y サービスクラブ(北大西洋区)のクラブの会員、家族がジョース・ヴァルギース国際書記長とマシュー・チャマカラ北大西洋区理事間とともに。同クラブは、2019年4月27日に15人の会員でチャーターされました。アメリカでバングラディッシュ移民の人々で構成された最初のクラブです。主な活動は会員家族の集まり、資金集め、他のクラブ、YMCAとの連携、地域でのボランティア活動、アメリカの祝日と国際祭日を祝うこと、バングラディッシュにあるひとつの地域 YMCA を支援することなどです。



ブラジルでチャーターされた新しいクラブ、Y サンパウロ ヴィラレワイズメンズクラブのチャーターメンバーです。このクラブは現地 YMCA のユニットのひとつである“Vila Re Social Circus”と協力して現地の400人の子供たちを支援します。

ベトナム - 新しい国に新しいクラブ



ベトナムに初めてのワイズが誕生しました。ヴェトナム・ダナン在住の韓国人が構成メンバーで、韓国 Chonbuk 区がスポンサーとなり2019年6月11日にチャーターされました。

ロシア:特別な子どもたちへの贈り物



ロシア・サンクトペテルブルグのワイズメンは、過去7年にわたり公園の清掃をおこなっています。清掃の後、Aleksey Vasilyev 元理事がヴェスナワイズメンズクラブに「大きな宝の袋」を渡しました。その宝の袋とは「特別な子供をお持ちの両親への休日」と題する事業のためのもので、サンクトペテルブルグから100キロ離れたところにある場所で行われています。そこではワイズのボランティアがその子供さんたちのお母さんに美容のサービスをしてあげる一方、他のワイズメンがその子供さんたちをゲームなどで楽しませる活動をしています。そして終わりにはプロの写真家による家族の写真撮影をします。

ベンディゴ:目標としてのフォークリフト



ベンディゴ Y サービスクラブは、10,000 豪ドルの小切手をベンディゴ・フードシェアという団体に新しいフォークリフトを購入する資金の一部として寄贈しました。クラブの他の資金は、他の運営経費にも使われます。このようなことが可能なのは、同クラブが主催した古本市で何千という中古図書を販売できたお蔭です。

アメリカ:ハワイでの本とパンの販売

ハワイのヌアヌ・ワイズメンアンドウイメンズクラブは、4月7日に行ったパンと本のセールで大成功を納めました。シナモン・ロールパンが一斤5米ドル、そして、あらゆる分野の本が中古書籍セールでお好みの値段で売られました。クラブ会長モーリスシモニシは「中古書籍の販売は大成功で、飛ぶように売れました」とコメントしました。このようにして同クラブ本の販売で800米ドルの売り上げを達成。会場で会員は、特別の努力はしていません。一カ月前から、今回のセールの宣伝をし、中古書籍の寄付を歓迎する旨を記した大きな箱を用意しました。セールの当日、会員が書籍をテーブルに並べただけで、別に大した努力をしませんでしたが、本は飛ぶように売れました。300米ドルを売り上げた後、『土曜の午後、日曜、月曜の朝にサービスセンターへの献金をお願いします。』の看板を出しました。この寄付の依頼に対して、なんと500米ドルが集まりました。」とシモニシ会長は話しました。



カナダ:1944 年以來美しい音楽を共に奏でる

75 年以上にわたり、ミッドランドのコミュニティーの生徒が、合同で練習した完璧な演奏のレパートリーは、毎年恒例のミッドランド・ワイズメンズ・ミュージックフェスティバルにおいて年齢を超えて多くの人々に大切にされてきました。毎年新しいアンサンブルの才能が、並外れた学術的および芸術的技能と結びつき、すべての人に愛され、評価される壮観な体験となっています。

バッハやショパンから現代のフォーク、ポップ、ミュージカルまで、ミッドランド・ワイズメンズ・ミュージックフェスティバルは、ルネッサンスから 21 世紀への音楽の研究と進歩を奨励します。この音楽祭は、すべての年齢と背景の若者が演奏し、専門家によって審査され、表彰されるユニークな機会を提供しています。

ライフスキルの構築と創造的表現

審査される演奏に参加することで、芸術家は創造的なリスクテイキングを行い、自らの能力に対する自信を高め、そして人生のあらゆる面で成長し、上達する重要な評価スキルを学ぶことができます。

練習と演奏において、生徒は美しい音楽と一緒に奏でるように、アンサンブルの各メンバーに積極的に敬意を表し、感謝します。彼らは、音楽祭の審査員による貴重なフィードバック



上段:私たちはこれを支援します。

下段:それによって、これをするまでに成長できます。)

を通じて、共通の長所と個人的な長所、または改善の分野を認識することができます

今年は、5 人の著名な審査員がフェスティバルに参加し、各生徒の進歩と可能性を彼らのプロとしての洞察で高めま

す。
出典:ミッドランド・ワイズ・メンズクラブの Facebook ページ

ヨーロッパ:デンマークの児童・青少年福祉への募金活動

それは、ホットカレースープとケーキと他の多くの商品が揃っていて本当に良いセールであることが分かりました。

このイベントは、ハザスレウ・ワイズメンズクラブとドライングレン・ワイズメンズクラブと地元の YMCA とボーイスカウトの協働によって毎年開催されます。収益金は、地元の子供や青少年の仕事のために良い条件を整えるためだけでなく、国内外の他の人道的な仕事のためにも使われます。「私たちは大きな支援を歓迎し、私たちが子どもや若い人たちを支援するのを手助けできることを嬉しく思います。」と、プレスリリースで、クラブを代表してソーキルド・セレンセンは述べています。

商品にはたくさんのイースター装飾がありました。他にもさまざまな部門の家具、本、金物、アート、電気製品、玩具、そしてクランボーデンなどがあります。

毎月第 1 土曜日の各セールの前に、寄付として入ってきた

ものが選別され、商品リストがウェブサイトとフェイスブックに表示されます。

出展:ヨーロッパ地域フェイスブックから



セールへの来客

インド:愛と安全の50の贈り物



「ホームレスの避難所」は、2018-19年のインド地域プロジェクトとして、K.C. サミュエル地域会長によって、屋根のあるまともな住宅が建つ自分の土地を持てるよう人びとを援助する目的が宣言されました。目標のセット数は30戸で、1戸あたりの平均費用は500,000インドルピー(約7,250米ドル)でした。しかし熱心なリーダーは、2019年4月末までに目標戸数を50に設定しました。

最終結果は、経済的に最も困難な背景にある50家族が、避難所と生活の安全を見つけることができました。プロジェクトを真摯に受け止めて真剣に働いた地区のすべての地域を称賛します。以下はこれらの贈り物の引き渡しの写真です。



建設労働者のラーマは、西インド区キャナノアサウス・ワイズメンズクラブから新しい家への鍵を受け取りました。



ジェニファー・ジョーンズ次期国際会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長が、南西インド区8部の受益者のアレヤマとともに



700平方フィートの家がビジマとその家族にインド中西区第6部によって贈られました。



南インド区バンガローのボーディロン・クラブのメンバーがナラヤナの身体障がい者のために建てた家



最近の洪水で家がひどく被害を受けたトリバンドラムの5人の女性からなる家族が、南西インド区からの贈り物の受益者でした。左の写真は、古い住居の残骸を調査しているクラブ会長。他の2つの写真は建築中の新しい家と2019年3月の譲渡式の様子。

過去を振り返る



1929 ワイズメンズクラブ国際協会、トロント大会、カナダ

素晴らしいYMIワールド誌

素晴らしいYMIワールド誌!

今回もあなたは、私の期待に違う事はありませんでした!第3号も素晴らしい内容であり、貴重な情報満載でした。その類希なお働きに対して何人かの寄稿者にせつせと感謝のメッセージを送っています。

元国際会長 ジョアン・ウィルソン

今回も心を奮い立たせるような記事を掲載した素晴らしいYMIワールド誌を発刊して頂きました。あなたの論説は、最も優れた内容なので、いつも他のページに移る前に最初に読みます。

YMIの近年の歴史の中でワイズ運動の創設者ポール・ウィリアム・アレキサンダーに関する事実を掘り起こす為に、私が目の当たりにしているような決然とした努力と調査が行われたことがあったでしょうか。ムン・サン・ボン国際会長と遺産特別委員会が現在取り組んでおられる作業は、賞賛に値します。この作業は、私たちがポール・ウィリアム・アレキサンダー判事について持っている知識を大いに変える事になるでしょう。私は、1997年トレドを訪れた国際議員の一人だったのですが、YMIの歴史と深い縁のあるトレド市にポール・ウィリアム・アレキサンダーに関する情報がほとんど無い事を知って驚きました。遺産特別委員会とYMIが今後このような現状に関する認識を変えてくれる事を望みます。

あなたが、YMIワールド誌に素敵な記事を盛り込んでくれた事にも感謝します。私たちのティカクラブ会長の記事を「現在の問題(課題)」の欄に掲載して頂いた事を嬉しく思います。クラブ会員一同心から感謝しています。

重ねて編集担当者がYMIワールド誌を豊かで情報溢れる出版物にしてくれた事に感謝します。元国際会長ベンソン・ワブレ

コシー、素晴らしいYMIワールド誌を有難うございます。毎月私の所属するクラブ会員の間で回し読みをしています。会員は、自宅に持

読者の反響



ち帰って読んでいます。YMIワールド誌は、ワイズメンズクラブ国際協会という、より広い世界で何が起きているのかに関する情報を常に与えてくれます。世界中でワイズメン、ワイズウイメン、メネットがどれほど懸命に努力しているのかを目の当たりにして本当に励みになります。重ねてあなたのYMIワールド誌発刊に関するご尽力に心より感謝します。

キャッシー・ネイラー アメリカ地域、太平洋南西区次期理事

情報満載の興味深いYMIワールド誌を発刊して頂き本当に有難うございます。ヘンリー直前国際会長の「国境を越えたエクステンション」の記事は、素晴らしい内容でした。ヘンリー直前国際会長、本当に有難うございました。カンボジアに関して若干の修正があります。記事では、新クラブが二つとなっていますが、カンボジアでチャーターされた新クラブは一つです。私の怠慢から約束した期限通り貴方に私の記事を送れなかった事をお詫びします。

デイビッド・ルア、次期国際議会議員(アジア太平洋)

これは、素晴らしい出版物です。この最高傑作を発刊する為にあなたが注がれた全ての時間に感謝します。

ウエイン・スミス、元地域会長(アメリカ)

最新版のYMIワールド誌を通読しました。それは、まるで多くの未知の場所にピクニックに出かけたような感覚を与えてくれました。未知の場所を旅行すると、今までに経験したことのない物に触れて心が躍ります。ページをめくるたびにそれと同じような気持ちになりました。YMIワールド誌が情報に溢れ、説明も行き届いていたので、私の旅を楽しむ事ができました。これまで最高の記事を提供して頂いた寄稿者全員に感謝申し上げます。親愛なる私の友人に敬意を表します。

スージー・マシュー、元地域会長(インド)

私たちは、何を恐れているのか？

最近のことなのですが、当地カンボジアのある友人が「ねえマックス、アメリカ人は、何をそんなに恐れているのですか？」と私に尋ねました。地元の一般的な出来事について雑談していた後に、この質問をされて突然話題が変わったことで、私は返事に窮してしまいました。何について話し合いたいのか見当がつかなかったので、私は彼に「どういう意味ですか？」と聞き返しました。すると彼は、毎年世界で総額 2 兆ドル近いお金が軍備に費やされており、その少なくとも 41% をアメリカの軍事費が占めているという統計を最近目にしたと説明してくれました。この事は信じ難いと彼は思ったのです。

特定の人や物を極端に恐れていない限り、誰もそれほど膨大な額の財源を兵器に投じて戦争に備えることはないでしょうと、彼は説明してくれました。広大な国土と、強大な力を持つアメリカは、何を恐れる必要があるのかと彼は問いかけていたのです。更に、相当数のアメリカ人が、それほど巨額な自分達のお金が破壊兵器に使用されるのを許容しているように見える一方で、一般市民の医療と教育のためにお金が使われる事に反対している事が不思議でたまらないのです。

私は、この事実については全く頭が混乱して、彼の質問に対する明確な答え持ち合わせていないと認めざるをえませんでした。いつの日か、アメリカ市民が彼の質問に耳を傾け、その答えを出すために心の奥底で内省する事を祈るだけだと答えました。

なぜ私たちは、戦争に備えるために膨大な資金を費やす一方で、我が国の誰もが質の高い低廉な医療を受ける権利を有するという発議に反対するのでしょうか？なぜ私たちは、学生達が自由で自立した生活にほとんど希望を見いだせないほど多額の学生ローンを抱えて大学を卒業するのを許容しているのでしょうか？私たちアメリカ人の優先順位は、一体どうなってしまったのでしょうか？

私たちは、巨額のお金を軍備に費やすことが、自らの自由を守る唯一の方法であると考えて戦争に備える一方で、自国民が低廉な医療サービスを受けることができない状況を放置し、子供達に食べ物を与えるのに役立つ食料品購入券を貧困家庭から取り上げると脅しているのです。私たちの自由と平和がどこから得られると期待しているのでしょうか？

かつてジェームズ・マジソンは、1975 年に出版した『政治評論』の中で「大衆の自由を脅かす敵の中で、戦争が最も恐るべき敵であろう。なぜなら戦争が全ての他者の邪心を産み育てるからであ

マックス エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。www.mennolink.org/peace アメリカ合衆国メノナイト教会平和・正義支援ネットワーク・ネット出版、ピースサインズの許可を得て転載。

る。戦争が軍隊を産み、軍隊が負債と増税を産み、それらが少数者による大衆支配に用いられる手段である事は周知の事実である。いかなる国家も戦争状態が続く中で自国の自由を堅持することはできないだろう。」と述べました。

平和と自由を獲得するために私たちの労力と資力を何に集中させるかについて、もっと真剣に考える時期が来ているのではないのでしょうか。国家予算の大部分を急速に拡大する軍備に投入することによって、平和と自由を獲得できるのでしょうか？それとも貧しき者と抑圧されし者に対してイエスが持っておられた心遣いを反映する

ような方法で、人々を思いやる事によって獲得できるのでしょうか？この心遣いについてイエスは、ご自身の山上の垂訓の中でとても雄弁に語られました。

平和と自由を獲得するために私たちの労力と資力を何に集中させるかについて、もっと真剣に考える時期が来ているのではないのでしょうか。国家予算の大部分を急速に拡大する軍備に投入することによって、平和と自由を獲得できるのでしょうか？それとも貧しき者と抑圧されし者に対してイエスが持っておられた心遣いを反映するような方法で、人々を思いやる事によって獲得できるのでしょうか？この心遣いについてイエスは、ご自身の山上の垂訓の中でとても雄弁に語られました。

ひとつの答えは、おそらく旧約聖書詩篇第 33 章 16-19 節に見つけることができるでしょう。「王の勝利は兵の数によらず、勇士を救うのも力の強さではない。馬は勝利をもたらすものとはならず、兵の数によって救われるのでもない。見よ、主は御目を注がれる、主を畏れる人、主の慈しみを待ち望む人に。彼らの魂を死から救い、飢えから救い、命を得させてくださる。」

もし、神様が私たちを死から救い、飢えから救ってくださると心から信頼しているなら、何を恐れる必要があるでしょう？

私たちには、自分たちが何を恐れているかという問いかけに対する真摯な答えを、時間をかけて模索する必要があります。そして私たちの社会を戦争に専念する社会から、飢えた人々、病める人々、投獄された人々、他者を思いやる事に真剣に取り組む社会へと変革する勇気を持つ必要があるのです。



Y's Men International
Y Service Clubs International

YMI WORLD

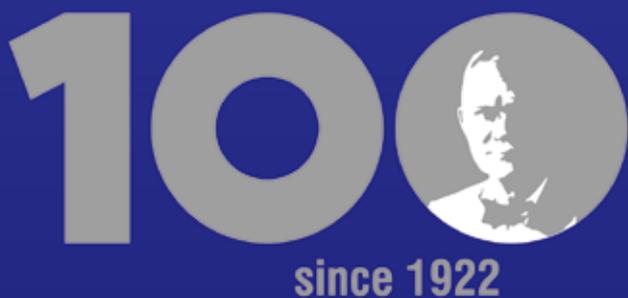
"To acknowledge the duty that accompanies every right" Only for private distribution to members

クラブの指導的立場にあるメンバーは、実施した活動に関する記事を 1 枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて国際本部に送られることをお勧めします。記事は、150 語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな私たちの運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。記事と写真を www.ysmen.org/yimiworld にお送り下さい。次号掲載記事の提出締切日:2019 年 8 月 31 日(翻訳グループ田中までご相談ください)

Challenge22

チャレンジ 22

「チャレンジ 22」は、全てのYMIのクラブメンバーにとって、共通の利益と私たちの国際的な運動の将来のために共に働き、世界をより良くするチャンスです。それは、私たちの活動範囲を拡げ、地域のそして地球的な私たちの関与と奉仕に私たちを挑戦させます。全てのクラブメンバー、リーダー、組織はこの挑戦に加わることを期待されています。



「2022年に向けて」の目標を達成するための作戦プランは、以下の挑戦の中にあります。

- 100 カ国
- 3,000 クラブ
- 50,000 名の会員
- YMCA との連携
- 認識を変える
- ブランドの明確化
- 遺産と共通のインパクト

詳しくは www.ysmen.org または
<https://drive.google.com/file/d/1pJplk9u8UMPCc1kNuPX8aZb6y4VavTgk/view>
(日本語での説明)